

# 海の森化粧品は 肌力が活性化する肌環境をつくれます

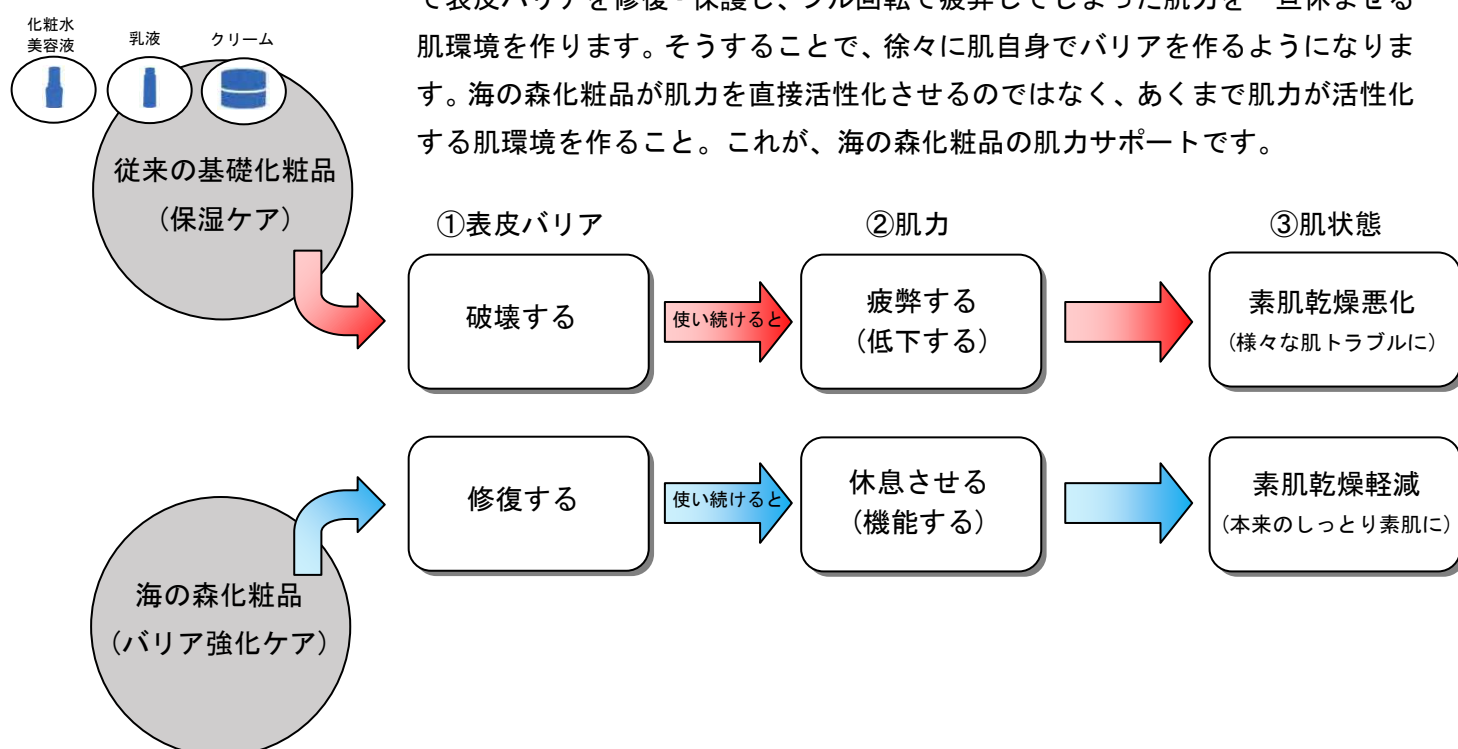
海の森化粧品の役割は、健康で美しい肌（地肌・毛髪）を維持するために不可欠な肌力（肌の自然治癒力）を活性化させる肌環境を作ることです。

## 肌力が活性化する肌環境とは

肌力を低下させる要因は、欧米食、乾燥、寒暖差、ストレス、PM2.5、紫外線、加齢などたくさんありますが、特に影響を及ぼすのが、日頃の保湿スキンケアです。保湿ケアを続けていると、もともと肌力がある健常人の肌でも肌力が低下して、「肌がヒリつく」「肌がかゆくなる」「肌がカサカサする」など、表皮バリア（皮脂膜・角質層）も弱まり、乾燥敏感肌になる傾向があります。

保湿スキンケアでは、保湿成分や美容成分を浸透させるために、合成界面活性剤やアルコールで表皮バリアを壊します。本来、バリアが壊れても、肌は自力でバリアを修復するため、短期間の使用であれば肌トラブルは起こりません。しかし、保湿スキンケアで表皮バリアを壊し続けると、肌力だけでは表皮バリアを元の状態に戻すことができなくなり、まず素肌乾燥が悪化します。保湿スキンケアへの依存度が強くなり、ますます肌力が低下して、くすみ、しみ、しわ、たるみ、毛穴の開き・黒ずみ、ニキビ、アトピーなど、様々な皮膚トラブルにつながるという負のスパイラルになります。

海の森化粧品は、ビタミンEを含む不飽和脂肪酸（タイプ1のセラミド）の酸性膜で表皮バリアを修復・保護し、フル回転で疲弊してしまった肌力を一旦休ませる肌環境を作ります。そうすることで、徐々に肌自身でバリアを作るようになります。海の森化粧品が肌力を直接活性化させるのではなく、あくまで肌力が活性化できる肌環境を作ること。これが、海の森化粧品の肌力サポートです。



※海の森化粧品は、合成界面活性やアルコール不使用のためバリアを壊す心配はありません。また、化学薬剤も使用していないため、抗原抗体反応を引き起こすリスクも、肌力活性の源となる細胞外液を汚す心配もありません。昨今、ナノレベルにした成分で、バリアを壊すことなく細胞を直接刺激・活性化させる肌力サポート化粧品もありますが、その効果は使用している時のみとなります。長期にわたる異物侵入は、生体にとって好ましくない、抗原抗体反応を引き起こすリスクや、肌力活性の源となる細胞外液を汚すことになり、肌力低下につながります。

#### ※ワセリン・オイルとの違い

ワセリンなどのオイルは、不純物が少なく刺激が少ないため、アトピーや肌の弱い方でも安心して使用できるのが特長ですが、目的はあくまで皮膚表面を保護することです。皮膚表面を油膜で覆うことで乾燥を防ぐことはできますが、表皮バリアの中心となる角質バリアは壊れたままです(角質バリアを修復できていない)。多量あるいは長期間の使用は、肌力低下につながります。

※タイプ1のセラミド(<http://uminomori.com/wp-content/uploads/2017/03/f2c0e7f036e494995b65cf25825f40da.pdf>)